

考 試 科 目	日文小論文	系所別	日本語文學系	考試時間	2月2日(五)第3節
---------	-------	-----	--------	------	------------

以下の文章を読み取った上で、次のテーマで3000字～4000字の字数限定で日本文で小論文を書きなさい。(100%)

テーマ：「近代日本の表現上の「私」と「公」の断絶と閉鎖性——〇〇〇（作家、作品、事件、社会現象）を例として」

1. 柄谷行人は初期の評論において、夏目漱石の『ころろ』の中で「先生」の遺書が、「K」に対して告白できなかったことについての後悔に満ちているということについて、次のように述べている。

「だが、われわれはむしろこういうべきではないか、真実というものはつねに、まさにいうべき時より遅れてほぞをかむような形でしかやってこないということを。そして、このずれには何か本質的な意味があるということ。

真実を語るとは告白するということだ。誰でも口にしうる真実などというものは真実ではない。そして、告白するということは、身を裂くような、そして、それを書き付けたなら紙が燃え上がる（E・A・ポー）ような行為である。先生は告白できなかった。なぜなら告白がたえず一瞬遅れたからである。というより、われわれは常に告白において一瞬遅れるほかないというべきだ。いかに我々が真実であろうとしても、それに僅かのずれが生じる。」（「意識と自然——漱石試論（I）」）

（大澤真幸「柄谷行人、予言の呪縛」『近代日本思想の肖像』（P57-58））

2. 福嶋亮太：

柄谷さんの『日本近代文学の起源』（八〇年）の「内面の発見」という論点にしても、その四年前に出た山崎正和の『不機嫌の時代』（七六年）で先取りされていると思うんですよ。『不機嫌の時代』によれば、日本の作家は明治国家に公を簞奪されてしまった。その結果として、作家というのは不機嫌な「私」の領域に閉じこもることになった。つまり、「内面」の領域に脱却し、ときにはホモソーシャルな友情に慰めを見出すことにもなった。「公」はすべて国家に集約され、「私」はすべて内面と友情に集約される。その間の公共的なものというのがないわけです。これはいまでも大きく変わっていないので、近代日本の表現上の弱点は大体『不機嫌の時代』で語られてしまっていると思う。

大澤真幸：

大雑把な図式で言うと、六〇年代には歴史なり意味なりに固執しているのが、八〇年代には構造や情報に行く。過渡期ゆえに両義的だったのが七〇年代。九〇年代には再び歴史/政治へと全面回帰していくことになります。

（「プレニューアカの可能性」『現代日本の批評 1975-2001』）

備 註	一、作答於試題上者，不予計分。 二、試題請隨卷繳交。
-----	-------------------------------

考試科目	日本語文化	系所別	日本語文藝系	考試時間	2月2日(五)第四節
------	-------	-----	--------	------	------------

※ 日語語言學、日本文學、日本歷史文化 三大題選擇兩大題。以中文或日文作答。(一) 日語語言學 (50%)

一、次の項目から五つ選び、例を挙げて説明しなさい。30%

- 自由異音
- 3項動詞
- 同音異義語
- 連体修飾節
- 派生語
- 言語変種
- モダリティ
- 接続助詞

二、次の質問に答えなさい。20%

- 目的節「PためにQ」「PようにQ」の違いについて、「PためにQ」のPは意志的な動作を表すが、「PようにQ」のPは無意志的な動作を表すことが指摘され、動詞の否定形が「ために」と共起しないのが普通である。しかし、次の例が示すように目的を表わす「ないために」の用例が見られる。次の用例を参考にし、目的を表わす「ないために」がどのような場合に使われるのかを書きなさい(次の用例はBCCWJによるものである)。

- 歯周病が生活習慣病を悪化させないために、何よりも生活習慣の改善が大切です。
- 女性と友達どまりの関係にならないためには、いくつかの基本的なポイントを押さえる必要がある。
- 泥棒に盗まれないためには、これをちゃんと隠しておく必要があります。
- 操さんの悲劇を二度と繰り返さないためにも、患者も、医療のあり方をじっくり考えなければならない時期に来ている。
- そして何よりも勉強のリズムを狂わせないために、このルールを決めました。
- ですから、あなたはこの次エラーをしないために、全力で練習しなければなりません。
- 同じ失敗を繰り返さないためにはどうしたらよいかを少し考えてみましょう。
- 最悪の事態にならないためにも今、思い切って決断しましょう。

2. 次の動詞を自由に分類し、なぜそのように分類したのか理由を書きなさい。

歩く、干す、見付かる、預かる、泳ぐ、探す、飲みすぎる、倒れる、開(ひら)く、乾く、開ける、打ち上がる、植わる、書く、見付ける、切れる、刻む、積み重なる、開(あ)く、断ち切る、飛ぶ、食べ続ける、洗い落とす、教わる、起きる、押す

備	註
---	---

一、作答於試題上者，不予計分。
二、試題請隨卷繳交。

考試科目

日本語文化

系所別

日本語文學系

考試時間

2月2日(五) 第4節

Ⅱ) 日本文學(50%)

一、次の問題から4問を選び、説明しなさい。20%

1. 筑紫歌壇
2. 祝詞
3. 蜻蛉日記
4. 日本靈異記
5. 藤原定家
6. 滝沢馬琴
7. 蟹工船
8. 樋口一葉

二、日本文学から好きな作品を一つ取り上げ、作品の主題、構造、修辞、特色、重要性について分析しなさい。30%



備

註

- 一、作答於試題上者，不予計分。
- 二、試題請隨卷繳交。

考試科目	日本語文化	系所別	日本語學系	考試時間	2月2日(五)第4節
------	-------	-----	-------	------	------------

三) 日本歴史文化 (50%)

【日本歴史文化】

一、次の項目から4つ選び、説明しなさい。(20%)

1. 聖徳太子
2. 菅原道真
3. 日蓮
4. 徳川家康
5. 本居宣長
6. 新渡戸稲造
7. 和辻哲郎
8. 大江健三郎

二、次の問題について論じなさい。(30%)

昭和時代と平成時代の文化を比較して、その共通点と相違点を述べなさい。

備

註

- 一、作答於試題上者，不予計分。
- 二、試題請隨卷繳交。